

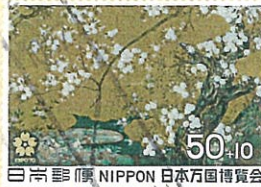
くまもと

386号

日本郵趣協会
熊本支部会報
2024.2

日本で開催された博覧会に関連する切手

山本純雄



日本万国博覧会
(1970. 3. 15 - 9. 11)
1969年3月15日発行



神戸ポートランド博覧会
(1985. 3. 20 - 9. 15)
1981年3月20日発行



国際科学技術博覧会
(1985. 3. 17 - 9. 16)
1984年3月10日発行



沖縄国際海洋博覧会
(1975. 7. 20 - 1976. 1. 18)
1975年7月19日発行



大阪国際花と緑の博覧会
(1990. 4. 1 - 9. 30)
1989年6月1日発行



横浜博覧会
(1989. 3. 25 - 10. 1)
1989年3月22日発行



インターネット博覧会
(2000. 12. 31 - 2001. 12. 31)
2001年1月5日発行



日本国際博覧会
(2005. 3. 25 - 9. 28)
2004年3月25日発行

毎年正月を迎えると、「1年の計は元旦にあり」とばかりに近くの神社に初詣に行き、今年はどんな年になるかと思いを巡らす、必ず切手のことも心に浮かぶ。

毎年、支部の例会では「大名刺会交換会」なるものが行われ、今年の収集目標を1枚のリーフで表す。今年は何にしようかと考えてしまう。

令和6年の幕開けは衝撃的であった。

能登半島地震、そしてその能登半島へ支援に向かう海上保安庁の小型機と日航機の滑走路上の衝突事故が羽田で発生した。

地球環境の変化もあってか、近年では地震・火山噴火・風水害など自然災害が多発し、幾度か支部切手展で取り上げることも考えたが、2016年4月に発生した熊本地震で被害の当事者になった身としては、なかなか手の出ないテーマではある。

折しも、今年は大阪万博の年であり、テーマはこれであろうと思いついた。

1970年、職場の研修旅行にて大阪万博を見学したこともあり、テーマとしては身近に感じるものがある。今年、万博に関わる切手を収集目標にしようと思う。



元々、切手収集に関して目標を持ったことはなく、レアな切手、目打ちや消印、古物的価値観、外国切手などについて興味・関心を持ったこともあるが、収集目標とまでは至らなかった。

以来、入手した切手の美しさやその由来などに興味を持つことで、収集は続いていると言っても過言ではありません。

果たしてカタログコレクションなのか、テーマコレクションなのか、ゼネラルコレクションと言うべきものも混在していると思います。

万博に関する切手は、その目的の一つである幸せな近未来を見せる科学技術や、産業・自然・芸術・歴史など多岐にわたる。

今年の収集目標が万博に関するものであるとするならば・・・

入手したものは、どんな切手であるとしても考慮する必要がある。逆に言えば、どんな切手も収集の対象にしなければならない。

かと言って、手持ちの切手で万博を表現できるかは自信もない。

秋の切手展に出品できる作品を完成するのが自分に課せられた課題であります。

1 ページ目に大阪万博寄附金付き切手から、過去に開催された博覧会記念切手を一覧にして見ました。



万博局の欧文印

